

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 和田英人
副 会 長 : 三原慎也
幹 事 : 畑中伸夫
公共イメージ : 森下 光
会報担当者 : 可児一彦・村井裕孝

2021 年度国際ロータリー会長：シェカール・メータ (Calcutta-Mahanagar ロータリークラブ・インド)

2021 年度国際ロータリーテーマ：Serve to Change Lives(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

<本日のプログラム>

第 2770 回 令和 4 年 6 月 2 日 第 1 木曜日
ガバナー補佐クラブ訪問

<次回の予定>

第 2771 回 令和 4 年 6 月 9 日 第 2 木曜日
次期活動計画校正

<前回の記録>

第 2769 回 令和 4 年 5 月 26 日 木曜日
会員卓話 坂本 仁会員
可児一彦会員

司 会 進 行 廣瀬泰輔 SAA

点 鐘 和田英人会長

ソ ン グ 我等の生業

来 客 紹 介 國田大雄会員
地区公共イメージ委員長
岐阜東南 RC 近藤浩史様



皆さん、こんにちは。公共イメージ委員長の近藤でございます。公共イメージ委員会というご存知の方は少なかもしれません、4年くらい前に広報委員会から名前が変わりました。広報だけではなく、

これからは公共イメージをアップするような活動をして、それを一般の方に知らせるといってこの委員会がございまして、先ほども会長さんとお話をしまして、この郡上八幡からも色々な活動が伝わるようなホームページの拡充や、マスコミ関係を使うといったことを行って頂ければいいかなと思います。もう一つお伝えしたいことがあって、実は一昨年秋に郡上八幡の安久田に古民家を買って、今、住所をこちらに移しています。ですから、私は一応郡上市民ということでこちらのクラブにお邪魔しました。これからも色々とお世話になるとは思いますが、宜しくお願い致します。

出席報告 山下友幸出席担当責任

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
39名(免除2名)	27名	7名	34名	92.3%

ニコBOX 河合 修ニコBOX担当責任者

・公共イメージ委員長・近藤様ようこそ。本日の卓話、坂本君、可児君 宜しくお願いします。

和田英人

・岐阜東南 RC 近藤様、歓迎します。坂本君、可児君卓話宜しくお願いします。

畑中伸夫

・思いつくまま話しますので子守歌になれば幸いです。

坂本 仁

・本日の卓話です。宜しくお願い致します。

可児一彦

・月曜日のゴルフ大会で郡上八幡 RC が優勝しました。

同好会の皆さん、ご苦労様でした。

和田英人

・先日の第 79 回親睦ゴルフ会に参加し、親睦を深めて参りました。結果は団体優勝でした。

ゴルフ同好会

・公共イメージ委員長・近藤様ようこそ郡上八幡へ。

坂本、可児両会員の卓話 楽しみにしております。

林 健吉・平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜

岩尾 誠・川井昭司・國田大雄・松本英樹

松森 薫・三原慎也・森下 光・村土時男

永瀬和郎・西川 昇・西村 肇・野田三津雄

小笠原正道・大川達也・酒井智義・霜野賢一

竹内巧治・渡邊 剛・山下友幸

幹事報告 畑中伸夫幹事

・ガバナーエレクト事務所より 2022-23 年度出席・会員動静報告とガバナー月信についてのお

願い

・郡上長良川 RC より例会変更・休会のお知らせ

I D M 報告 川井昭司会員



テーマの「出席」に関しまして、例会場は学びの場であり親睦の場でもあるけれど、出席しなければ何もならないので、ロータリーはもっと出席することに真剣に取り組んで欲しいという話をしました。ロータリーは、時間に始まって時間に終わることに厳しい。従って、遅刻・早退を安易に行わないようお願いしたいという意見もありました。

委員会報告

國田大雄親睦委員長

・親睦旅行の確認事項

会長の時間 和田英人会長



近藤様、ようこそ。郡上市民になられたということで、お時間が合えばまた覗いて下さい。

先週の社会奉仕作業、皆さんご苦勞様でした。公共イメージの森下委員長、ありがとうございます。新聞記者さん、ING さんに来て頂いて、翌日には新聞に掲載され、良かったのではないかと思います。社会奉仕委員長の岩出さん、ありがとうございます。草刈り作業では軽トラック 3 杯ほどの草を刈ることができました。皆さん、本当にご苦勞様でした。

また、ゴルフ同好会の皆さん、月曜日の東海北陸道グループクラブ対抗親睦ゴルフ会への参加、ご苦勞様でした。また、優勝おめでとうございました。当日はゴルフ場のすぐ横で火事があり、プレーができるか心配な状況でしたが、無事に一日回ることができ、各クラブとの親睦を図ることができたのではないかと思います。それと、今週の土曜日には親睦旅行があります。出席される方は朝早いですが宜しく願います。また皆さんと一日親睦を深めたいと思います。親睦委員長の國田君、大変だと思いますが宜しく願います。

会員卓話 坂本 仁会員



改めまして、こんにちは。いつも卓話の時は仕事関係の話しかしてなくて、本当なら自分の趣味の話でもしたいのですが話がまとまらないので、今日も仕事の話を見せて頂きます。

まずはコロナのことになりますが、先日、医師会の理事会でも話が出ましたが、4 回目のワクチンの接種が 7 月から始まります。対象者は 60 歳以上の方ないし、18 歳以上 60 歳未満の基礎疾患が

ある方で医者が打った方がいいと認めた方となっています。3 回目の接種で特に若い方がドタキャンされて、ご存知のようにワクチンは溶解するとその日のうちに使い切らないと破棄することになるんですが、私の病院でも半分くらい来ない日が 1, 2 回あり、かなりロスが多くてどうしようかということになり、できれば希望を取ることになりそうです。まだ決定ではありませんが、自動的に接種券が送られる前に、接種を希望するかしらないか予備調査をするらしいので、市の方からそういった文書が届くかもしれません。接種は最初に施設入所者等から始まりますので、皆様だと多分 8, 9 月くらいからになると思います。4 回目の接種の目的は、感染予防ではなくて重症化を抑えるというものです。このコロナ禍になってから病院関係で減ったものといえば、まず患者さんが減りました。私の病院はコロナの受け入れ病院ではないので特にですが、風邪をひいた人が本当に来ないので、当然外来患者は減ってきます。そして、なるべく長期にお薬を出して欲しいということで、例えばひと月に 1 回病院に来ていた方が 2 か月に 1 回になる。当然患者さんが減る分、収益も減ります。同時に入院患者も凄く減って、経営的には厳しいところです。あと、皆さんマスクをして予防をしているので、インフルエンザに罹る人が減りました。このコロナのパンデミック宣言が出てから、私の病院でインフルエンザの検査をして陽性になった人は一人もいなくて、他の病院でもインフルエンザの患者さんはほぼゼロの状態が続いています。やはり感染予防をしていたり外出自粛をしていたのでそうなんだと思いますが、今度はコロナのパンデミックが終わって通常の生活に戻った時に、逆にコロナが収まった分インフルエンザの大流行があるかもしれないし、特に 3 歳位までのお子さんは生まれてから 1 回もインフルエンザウイルスに曝露されていないので、インフルエンザに罹る患者さんが恐ろしいくらい増えるんじゃないかと思えます。小さいお子さんやお孫さんがみえる方は、もしコロナが収まってインフルエンザが流行るかもという時はワクチンを打った方がいいと思います。他にも減ったものとしては癌が減りました。全国で年間に新たに癌と診断された人が、コロナの前と比べると 7 万人くらい減ったということです。これは決していいことではなくて、検査をしていないから見つからないということです。皆さん家で我慢したり、症状がないから病院に行かないとか検診を受けないなど、癌が見つからないようです。市民病院の外科の先生にも聞きましたが、手術が凄く減っているそうです。これでコロナが終わると、また皆さん検診を受けたり症状が出たとかで、癌が見つかる人が増えるのではないかなと思います。皆さんも検診を受けていないようでしたら、受けられるところは受けておいた方がいいと思います。

あとは、いろんな防御をし過ぎている分、特に小さいお子さんは免疫がなかなかできていない病気があります。ニュースでも言っていました、よく分からない肝炎が何例が出ていて、移植をしなければいけないような肝機能不全になったお子さんもいます。その原因もまだはっきりしていません。小さいうちに色々な病気に接触して免疫を付けることは大事なことです、今はそれがなかなかできていないので、3歳以下のお子さんはこれから色々な感染症に注意した方がいいのかなと思います。

今の状態が早く終わって、皆さんとまた楽しく集まれるようになると嬉しいなと思っています。ありがとうございました。

会員卓話 可児一彦会員

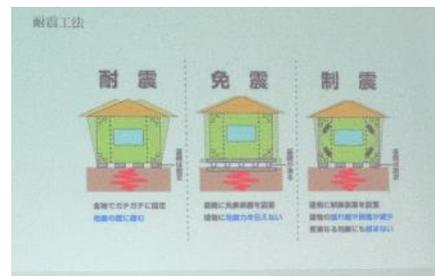
皆さん、こんにちは。今日は「自然災害と建物の強度」ということでお話させていただきます。最近いろんなところで地震が起きていますので、特に地震についてお話ししたいと思います。

最初に、なぜ地震がおきるのかというと、皆さんもよくご存知だと思いますが、地震には二つのタイプがあります。まずプレート型地震で、大陸プレートと海洋プレートが動くことでひずみができ、それが動くことで地震が起きます。もう一つは断層地震といって、大陸プレートの動きで縦にひずみができたり横にひずみができたりして地震が起きます。地震の揺れの大きさは震度0から7まであり、震度5と6にはそれぞれ「震度5弱」「震度5強」、「震度6弱」「震度6強」の二段階あり、全部で10段階あります。これに関して昔は揺れの大きさを体感や周りの状況から判断していましたが、今は震度計によって判断されるようになりました。今までに全世界で起きた一番大きな地震が震度7です。地質学上も震度7以上の地震はないだろうと言われています。

これを踏まえまして、建築基準法には耐震の基準があります。基準法ができた1950年では、地震に対する強度は震度5くらいでした。その後、1978年の宮城沖地震で震度6以上の地震が起き、家屋への被害が大きかったことから基準が見直されて、1981年(昭和56年)に新耐震基準ということで基準が上がり、震度6~7の地震が起きても建物が倒壊しない強度になりました。しかし、1995年の阪神淡路大震災で、新耐震の建物でも被害があったということで見直されて、2000年(平成12年)に筋交いに補強の金物を入れたり、地盤調査をすることなどが加わって今の基準になりました。目安として、自宅や職場がいつ建てられたかで安全かどうか分かるかと思いますが、昭和56年以前の建物は今の基準に至っていないので、震度6以上の地震が来ると倒壊するかもしれません。なお、平成12年以前の建物は今の耐震基準を概ね満たしてはいますが、補強の部分で弱いことがあるの

で注意が必要です。平成12年以降の建物であれば、今の新耐震ということで基準を満たしているのので概ね安心だということです。

次に耐震の方法ですが主に3種類あり、「耐震工法」「免振工法」「制振工法」があります。耐震工法というのが、今一般に多く用いられていて、震度6,7の地震が来ても耐えられる工法です。免振工法は、基礎と建物の間にコロとかゴムなどを入れて地震を吸収し、建物に伝わりにくくする方法です。制振工法は、基礎と建物はしっかり繋がっていますが、筋交いの部分などにバネのような柔軟性のあるものを入れて建物の揺れを吸収する方法です。この制振工法ですが、昔の人はとても優秀で、五重塔は何千年も前に建てられましたが、その頂上部分から1階部分まで芯柱が通っていて、それが揺れを吸収することによって塔は地震に耐えることができています。昔の人の知恵ですが、五重塔は制振工法で建てられているということです。



続きまして自然災害と建物強度についてです。自然災害にも色々ありますが、建物を壊そうとする力が働く自然災害として、地震、台風、土砂災害、津波とありますが、地震と他の台風、土砂災害、津波では建物に働く力が違います。簡単に相撲に例えると、台風、土砂崩れ、津波、洪水は突き出しになります。地震は、紙相撲のように土俵を揺らして倒そうとする力が働きます。これで分かるのが、台風や土砂崩れ、津波、洪水は木造より鉄筋コンクリート造が有利です。地震に関しては、築年数が同じなら木造でも鉄筋コンクリート造でもほぼ差がないということです。軽くてバランスのいい建物が丈夫で、重くてバランスの悪い建物が壊れやすいということです。

今日のまとめとしまして、今住んでいる住宅や職場の強度はいつ建てられたかによって違うのを見直されるといいかと思います。地震に関しては構造の違いはなくて、鉄筋でも木造でも軽くてバランスいい建物が丈夫だということです。以上です。ありがとうございました。